

別記様式（第2条関係）

会議結果報告書

平成29年5月17日

会議の名称	新行政改革プラン推進本部 第1回会議
開催日時	平成29年5月17日（水） 10時00分～11時00分
開催場所	庁議室
出席者職氏名	〔本部メンバー〕※進行者 本部長：香川市長※ 副本部長：櫻井副市長 本部員：相子企画部長、尾崎総務部長、高橋市民生活部長、村上健康福祉部長、川幡都市整備部長、土岐教育政策部長、金子上下水道部長、今野議会事務局長 <p style="text-align: right;">（計10人）</p>
欠席者職氏名	尾崎教育長 <p style="text-align: right;">（計 1人）</p>
説明員職氏名	松永政策推進課長 <p style="text-align: right;">（計 1人）</p>
議 題	新行政改革プラン・推進実行計画について
結 果	内容について、おおむね了解。 ※内容について意見等がある場合、5月23日までに政策推進課に連絡することとなった。
事務局職員職氏名	松永政策推進課長、松田政策推進課主査
その他必要事項	

会議内容の記録（会議経過、結論等）

1 開会

本部長が開会を告げる。

2 審議事項（本部メンバーは「メンバー」と表記する。）

<新行政改革プラン・推進実行計画について>

○概要説明

・松永政策推進課長より、新行政改革プラン・推進実行計画について概要を説明後、審議を行った。

平成29年2月に定めた新行政改革プランでは、平成28年度から平成32年度までの5年間で、事務事業の見直しをはじめとした17の改革プログラムを実行していくこととなっている。この進捗管理を行うため、市長を本部長とする「新行政改革プラン推進本部（以下、「推進本部」という。）」を組織し、進行管理を行っていくものである。

このうち、事務事業の見直しについては先行して行っており、来週にヒアリングを行う予定となっている。この結果については、改めて推進本部において報告・協議を行いたいと考えている。

メンバー：対象事業の分類とのことだが、もう少し細かい分類で事業を見ることはできないのか。例えば、予算は少ないが事務量が多いような事業については、この事業の分類では、把握しきれないのではないか。

担当部課：細かい事業については、事業担当課が自主的に事業の縮小・廃止に取り組まない限り、把握については難しいと考える。ただし、今回の見直しでは、事務量の多い業務については、指定事業として見直し対象としているところであり、この中で把握できる事業もあると考える。

メンバー：この分類では把握できない事業も、事務事業報告書には掲載されているのではないか。

担当部課：今回の事務事業の見直しについては、まずは、網羅的にすべての事業の見直しを行うことを目的としている。全事業を網羅的に把握するとなると、これ以上に細かく見直すことは難しいと考える。

メンバー：事業見直し調書の事業名称は分類の名称なのか。一つの分類につき、調書1枚なのか。

担当部課：同一分類内の複数の事業を見直す場合は、調書を分ける予定である。

メンバー：そうであれば、調書の事業名称は、分類の名称ではなく、見直す事業の名称を書いてもらったほうが見やすい。

メンバー：いずれにしても、細かい事業を見直すとなると、こうした事業の見直しだけでは難しい。部長、課長が日常的に決裁を行う際、「昨年度と同じ内容です」との説明がなければ、決裁をするべきではない。事業の内容をきちんと把握した上で、要・不要の判断をするべきだ。

メンバー：例えば、指定管理者制度のような、全庁で統一的に実施している事業についても、この事務事業の見直しの対象とするのか。

担当部課：指定管理者制度については、別途、議論を行うこととしている。

メンバー：行政改革プランのほかの改革プログラムについては、推進本部において議論を行わないのか。

担当部課：個別の取組については、案件ごとに、必要に応じて協議を行いたいと考えている。

○結論

内容について、おおむね了解。

※内容について意見等がある場合、5月23日までに政策推進課に連絡することとなった。

3 閉会

本部長が閉会を告げる。

備考 会議内容の記録には、発言者の立場を明記するとともに、発言の趣旨が容易に理解できるよう簡潔明瞭に記載すること。